年　　組　名前：

絵本２冊を点訳 Xマスに寄贈へ

帝京福祉専門学校２年生

帝京福祉専門学校（山梨市）介護福祉科の2年生が今月、絵本の点訳に取り組んだ。絵本はクリスマスの時期に合わせ県立盲学校に寄贈する予定。

授業で学んでいる点字の技術を生かし、2006年から制作している。今回点訳したのは市販されている2冊。点字技能師の小宮美砂子さん(58)の指導を受けながら22人が取り組んだ。

14日は透明なシールに点字器で点字を打ち、絵本の活字部分に貼り付けた。挿絵がイメージしやすいように彫刻刀などでシールに輪郭をつけたほか、何の絵か説明する点字も添えた。

清水晴暉さん(20)は「葉が重なる部分など複雑な絵を表現するのが難しかった」と感想。山下莉穂さん(19)は「この絵本がきっかけとなって、子どもたちに読書を好きになってもらえればうれしい」と笑顔で話した。

小宮さんは「点訳絵本の制作を通して、視覚障害者の立場になることができる良い機会だと思う」と話していた。〈重友優奈〉

点訳絵本を制作する学生ら
＝山梨・帝京福祉専門学校

（2021 年 9 月 19 日付 山梨日日新聞 12 面）

問1

帝京福祉専門学校の介護福祉科２年生が、授業で学んでいる点字とはどういうものですか。

問2

普通の文字で書かれた文章を、点字で書かれた文章に翻訳するのが点訳です。学生たちはどのように絵本の点訳作業を進めましたか。①～④の順番を付けてください。

「　　」　何の絵か説明する点字を添える
「　　」　絵本の活字部分に貼り付ける
「　　」　透明なシールに点字器で点字を打つ
「　　」　挿絵がイメージしやすいように彫刻刀などでシールに輪郭をつける

問3

視覚障害者にとって家の中や外出する際、点訳本以外にどのような物・設備・動物などが必要だと思いますか。いくつでも挙げてください。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2021 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.